





船木小 実践③	味覚教室		
実施日時	11月22日(金) 3.4校時	実施場所	家庭科室
対象	4年生 5年生 保護者	指導者	栄養教諭・担任・(シェフ・生産者)
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	体験を通し、五味についての知識や、五感を活用し味わうことの楽しみ、いろいろな味を体験する大切さを学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部講師である、シェフの話聞き、味わう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・味を感じる舌の味蕾について知り、確認する。</li> <li>・五感(味覚、触覚、聴覚、嗅覚、視覚)、五味(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味)について知る。</li> <li>・きび糖、塩、酢、カカオ、こんぶだしで五味を確認し、酢と砂糖、こんぶだしと塩の組み合わせ、ピーツのジェリーを味わう。</li> </ul> </li> <li>○ 生産者の話を聞き、野菜を試食する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケール、ほうれん草、サニーレタスを味わう。</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>		
児童・保護者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五感を使って食べると、すごくおいしく感じられました。(児童)</li> <li>○ 目や耳、手ざわりやかたさなどをみてから、味を意しきしながら食べたいです。味は本当に大切なんだなと思いました。(児童)</li> <li>○ 味覚が発達する子どもの時期に、様々な味を体験することで、食べることの楽しさも知ってほしいです。(保護者)</li> <li>○ 「伝える事がとても大事」という言葉は、子どもたちも理解できたのではないかと思います。(保護者)</li> </ul>		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食べる時に、味をたしかめながら食べていると答えた児童が増えていた。(授業前2人、授業後31人)</li> <li>○ 味蕾の数が最も増えるこの時期に、しっかり味わうこととお話いただき、さまざまな味を体験することの重要性を児童も保護者も感じていた。</li> <li>○ 保護者の参加人数が少なかった。参観日など他の行事と組み合わせるなど、保護者も参加しやすくなる日程等の工夫が必要であると感じた。</li> </ul>		

